平新報

發行日 毎月一回 五日發行
編輯兼發行印刷人 山野邊庄吉
福島縣平町二丁目拾 發行所 平新報社
廣告料 五號十二字詰一行 一回五十錢 場所指定倍增
一部 定價金拾錢 送料 五厘

冷害凶作地の育蠶家は

春蠶に力を入れよ

それには蠶種を寒洗ひせよ

福島縣石城養蠶奬勵會長
蠶業技手　木田藤次郎

値段が高いの安いのとこぼしても農家の收入としては短時日に纒つた金を手にせられるのは何と言つても矢張り蠶業より外にない事と思ふのであります。そこで明年の繭相場はどんなものかと推考するに矢はり五圓以上の期待は、まあ望まれないと思ふ處であるので、安い繭價相場の年に安いからと言つて無茶な飼育法を以つて行はれては失敗の一途を辿る事なきにしもあらず、あれば安い年程細心の注意を以つて育蠶に當らねばなりません。依つて、いつも言ふ事ではあるが又養蠶家各位にころばぬ前の杖として蠶種の寒洗ひの事について記して見ましよう。

蠶種を洗ふ理由

一、卵面上に附着しある有害毒物の除去をする事

一、優良蠶種の價値を保たしめ發生後に於て違蠶の失敗を未前に防止する事等であります。然らば洗ふ時期はいつがよいか又其方法はと言ひますれば

イ、時期

時期は一年中一番氣温の低下した即ち十二月下旬より二月上旬頃までを可とします。それは蠶卵中の胚子の休眠時期を利用せねばならぬからであります。

ロ、準備としては

先づタライ二個若くは桶に清水をくみ入れます。此のときくみ入れる清水は川の水を選ぶか、井戸の水を入れるかと言ひますと、川の水でも井戸の水でもよろしいが、必らず今日は蠶種を洗ふのだからと言つて朝方に其水をくみ入れぬ事肝要であります。

なぜかと言ひますと、井戸の水や川の水は氣温よりどうしても幾分暖か味があつてヌル味勝であります折角氣温の寒いときに、暖か味のある井戸の水や川の水を、しかも朝にくんで直ぐ洗ふ事は一を知つて十を知らぬ洗ひ方であります。依つて實驗から言ふと洗ふと思つたなら必らず明朝洗ふと思つた今夕、タラヒ或は桶なりに水をくみ入れて此側の家の裏の軒端に置いて一夜外氣の温度と同じ温度に冷たくして明朝早やく起きて洗ひに取り掛るのであります。

それに朝清水をくんで直ぐ洗ふ人もありますが、あまり感心した洗い方ではありません。

ハ、洗ひ方

洗ふ水の準備も昨夕して置いたので、今朝早やく太陽の昇らぬ中に起きて蠶種を其水の中に約三時間位浸漬し置き卵面上に附着しある有害毒物其他の汚物が、うるけた頃を見計へ、卵面を洗ひ除くのでありますが、洗ふ時は、障子をはるときのハケを使用した方よく、又うるけた蠶種を洗ふ時水より蠶種を取り出し洗ふのであるから、此蠶種を上げる一枚の板を必要と致します。此の一枚の板をたらひなり桶なりに斜に支へ入れて此の板の上へ蠶種を水より取り上げハケに水を含ませ、卵面の上をハケの毛先きにて輕るく叩く様にしつつ、汚物を洗ひ落すのであります。

三、四度輕る　洗ひ去つたら今度は又一方の桶なりタラヒなりに、清水をくみ置いて其洗ひ落しすみの蠶種を、其清水に入れてソヽギ去るのであります。　以下次號

磐中短信

來る七日寒稽古納會をするが皆勤者は柔道部二五〇名　劍道部一七〇名で成績は非常によいと。

謹賀新年

雙葉中學校　山崎光雄

十一日　建國祭　紀元節　當日擧行の筈

音信交換

拜啓益々御清穆の段奉賀候陳者今回廣野村長改選に付小生當選し一月十一日就任致し候就ては今後共舊に倍し御援助御指導賜り度奉懇願候先は御通知旁々御願申上候　敬具

昭和十年一月十二日

福島縣雙葉郡廣野村長

根本一良

拜啓時下嚴寒の砌愈々御清適奉大賀候

扨て小生儀御地在勤中は一方ならぬ御世話樣に相成り誠に難有厚く御禮申上候當地は見渡す限り白雲皚々たる僻阪の地には候へ共十和田の景勝にも近く夏期本線御通過の機も有之候節は是非御枉駕奉待上候

終りに故郷の地に貴下の御同情に惠まれたる小生が山河相隔たり候とも貴家の御幸福と御地の御發展を祈りて止まざる次第に御座候先は不取敢安着の御報旁々御挨拶申上度斯如御座候　敬具

昭和十年一月十七日

秋田縣鹿角郡小坂町

小坂鑛山事務所

箱崎清一

磐中同窓新年會

例年の通り磐中同窓新年懇親會は一月三日午後六時より平町谷口樓に於て開催會長關内正一氏の開辭、校長小檜山久作氏並に代議士比佐昌平氏の挨拶に次いで來賓として恩師室直與先生の謝辭（別項參照）遠藤平太氏よりの祝電披露あり出席員左の如く頗る盛會であつた。

小野間次郎、山崎忠兵衛、松井深、箱崎清一、蛭田利光、小檜山久作、渡邊久、齋藤榮一、山崎宣吉、近藤廣記、大井川八郎、廣田德行、井上貞次郎、金成忠義、諸橋久太郎、新田目春松、鳥海菊五郎、金子重次、中野悳次、酒井清、松本榮一、諸橋敬一郎、大和田郡司、酒井國三郎、綠川忠治、佐藤作平、靑天目源一郎、神谷孝雄、谷口孝雄、比佐昌平、草野五郎、松本健鯨岡久一郎、鈴木茂作、遠藤勝政、市井茂、野崎喜八郎、關内正一、山田盤麿、山野邊庄吉

知人消息

諸根樟一氏 此度氏は東京市目黑區中目黑四ノ一、三九二へ轉居された。

梶原磐中教諭 磐中教諭梶原富次氏は二十六日石城郡川前小學校に視學委員として出張中突然發病同日午後五時頃卒去された。享年五十七、同教諭は物理學校出身大正十三年赴任以來今日に及び急逝されたのは非常に惜まれてゐる。

室先生謝辭

朝陽靈光新に梅花清香を滿たせる新年の今日同窓會諸彦の招待を受け茲に席上に列するを得たるは誠に欣悅至極と言ふ可きなり老生齢方に八十九歳を重ぬ思ふに過去に親みを有するもの也朝夕思ひ出の種となるものは過去事實なり中に就き時に思出の種となるものは四十年前に於ける磐城中學の創立なり更に植竹校長の依託を受けて劍道師範の任に膺りし一事なり當時老生齢五十爾來十有三年斯校に出入し眼底に劍光を書きつゝ聊微力を盡したるを感す實に光陰は矢よりも早く白髮の翁とはなりぬ然りと雖ども磐城中學校は健全に生長し諸君亦中學校敎育の本を体せられ師長を敬し同窓相親み一心協力克後生を指導せらる多士濟の美日に日に伸長せむことを思ふ時吾等は老を忘れ齢を忘れ春陽の輝く處萬物新に生氣を滿すが如きを覺ゆるなり是故に平素の所懷を披瀝し誠心誠意諸彦の前途を祝し併せて茲に謝意を述ぶ

昭和十年一月三日

磐城セメント代理店
西村屋藥舗
平町二町目（電話長三番）

内科・小兒科
藤沼醫院
平町紺屋町　電話五〇七番

平町田町
高久病院
院長 高久忠
副院長 赤羽清
藥局長 佐竹菊雄
電話五一三番

吸入用酸素　純度99%
度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　体温器　寒暖計
關内藥局
電話四〇番

磐城劍道會

益々多事發展の爲
武德會へ合流に決す

磐城劍道會は創設以來數年、必ずしも永い歴史を有するとは言はれざるも、長加藤丈夫氏、元磐中教諭小野寛美氏等主となつて、石城劍道界啓發に努力、今日の隆盛をみたるが去月十二日午後一時より平町六間門小野寛美氏宅に幹部會を開き、今後の方針其他協議の結果、今後益々多事の今日に武德會に合流して其發展を期す事となつた。而して同會が有する優勝旅並びに優勝刀は、其儘武德會へ移管し、尚積立金は會員へ決算報告の上殘額をやがて建設さるべき武德殿の基金へ寄附するに決したと。

○磐城劍道會は創設以來數○吾妹年、必ずしも永い歴史を有○赤壁するとは言はれざるも、會○筑波長加藤丈夫氏、元磐中教諭○早春小野寛美氏等主となつて、○露石城劍道界啓發に努力、今○かへる日の隆盛をみたるが去月十○地上二日午後一時より平町六間○草桐門小野寛美氏宅に幹部會を○黒潮開き、今後の方針其他協議○雲母の結果、今後益々多事の今○漁火日に武德會に合流して其發○神戸詩人展を期す事となつた。而して○工人同會が有する優勝旅並び○短歌草源に優勝刀は、其儘武德會へ○駒草移管し、尚積立金は會員へ○ライスク決算報告の上殘額をやがて○瓶・史建設さるべき武德殿の基金へ寄附するに決したと。

三文庫へ（入庫本目録）一四
詩と短歌

○街　○チクタク　○青虹　九冊　○短歌　○創作　NO3　○東　○いぶき　九冊　○生誕　拾壹輯　○櫪櫺　○さゝかに　○歌と觀照　○散文　○ボトナム

信心銘

至道無難、唯だ揀擇を嫌ふ、但だ憎愛莫れば、洞然として明白なり、毫釐も差有れば、天地懸かに隔たる、現前を得んと欲せば、順逆を存すること莫れ、違順相爭う、是れを心病と爲す、玄旨を識らざれば、徒に念靜に勞す　（大法輪より）

舊正月二日初賣景品付
大賣出し
福島縣平町四丁目
伊勢屋商店
阿部唯次郎
電話四十五番
振替東京一七九八九番

舊正月二日三日
出張初大賣出し
追り來る三五・六年の危機突破をめざして□榮呉服店も亦例年の通り出張平素の御愛顧に酬ゆる爲一大奉仕をいたしますから賑々しく御來店の程を
出張場所　三丁目電跡
超特價品　本製小紋金紗銘仙　金六圓八十錢　モス着尺　金二圓八十錢　白、時ネル（一丈モノ）金六十八錢　金二圓五十錢
外全商品一大奉仕
榮　松本呉服店
平町十五丁目
電話四五八番

舊正月二日
吉例初大賣出し
平土産として弊店謹製風味格別の銘菓
平ゆべし
壹折金拾錢也
おすゝめ申上げます。
平町田町
日進堂菓子舖
電話一八六番

舊正月二日
初賣出し
景品付
商品券御利用下さい
關内藥局
平町四丁目
電話四〇番

昭和十年一二日市非常大奉仕
▼—午前一時開店—▲
當日は混雜いたしますから商品券の御買上をおすゝめ致します。
マルトモ書店
平町四丁目　電話二二四番
マルトモ運動具店
電話二二四番

久　釜屋の初賣！
舊正月二日午前二時より午後五時迄
混雜中時間と御手數を省く
奮勵努力の商品券
金拾圓
金貳拾圓
金參拾圓
金五拾圓
金壹百圓
何卒御利用下さい
久　釜屋商店
電話特長九番　九番

舊正月二日三日の二日間
吉例初賣出し
平素の御引立に酬ゆるため景品も大奮發して年一回の御禮大提供!!
平町三丁目
かかや洋服店
電話二〇三番